

広島市植物公園

見どころ案内

オキナグサ (キンポウゲ科)
黒に近い赤花でピロードのような毛に覆われています。

カタクリ (ユリ科)
花が咲いています。種から育てた第一世代です。ここで結実した種から苗が育ち始めています。第二世代の花が咲くのは5~6年後です。

ゼラニウム展 (フウロソウ科)
日本一のコレクションで約350品種を一度に見ることができます。葉の香りを楽しんでください。

ヒスイカズラ (マメ科)
フィリピン原産のエメラルドグリーン色の花です。房になってぶら下がっています。

リキュウバイ (バラ科)
漢字で利休梅と書きます。純白の花で品があります。

コバノミツバツツジ (ツツジ科)
芝生広場の他にも園内のいたるところに自生しています。色は淡ピンクから濃ピンクまで株により様々です。

サトウソメイ (バラ科)
ソメイヨシノの枝変わり種で広島生まれの桜です。ピンクがやや濃い色です。

ミズバショウ (サトイモ科)
白い部分は仏炎苞(ぶつえんほう)といい、その中央に小さな花が円柱状に集まっています。

ツバキの園芸品種
(ツバキ科)バラやボタンを思わせる大輪のツバキがたくさん咲いています。

ベニバナトキワマンサク (マンサク科)
トキワマンサクの赤花タイプです。リボン状の花びらが特徴的です。

広島江波山桜 (バラ科)
1994年に珍しい山桜として名づけられました。花びらは13枚です。原木は江波山公園にあり、被爆桜として市の天然記念物に指定されています。

八重紅枝垂れ (バラ科)
エドヒガンの枝が枝垂れて花色の濃いタイプです。

ムスカリ (ヒアシンズ科)
香りの小径沿いがブルーのじゅうたんのようです。

モクレン園 (モクレン科)
様々な色の園芸品種が開花中です。

